

# 動物とお話の仕方マニュアル

## 前もって聞いておくこと

- 1 名前
  - 2 年齢
  - 3 性別
  - 4 家族構成
    - ペット
    - 人間
- 理由
- 自分が緊張しないため
  - 波動が乱れないため
  - 自分を知ってくれていると安心させるため
- 飼い主が質問したいことを聞く
- 少し情報を入手する
  - ペットとの話のネタのため

## 1 大きく深呼吸を2回

- 写真を見る前に
- 目を閉じて
- 鼻から吸って口から出す

## 2 写真から性格、キャラを読み取る

- 飼い主さんの心を掴むため
- キャラを感じる
- 性格を感じる
- まだ会話はしない

## 3 飼い主にそれを伝える

- 飼い主に心を開いてもらう
- 飼い主の心を開くために
- 緊張しているとペットが話さない
- 関係ないことを話しても可
- 自分もそこで繋がれているかの確認が出来る
- 質問されたことと関係ないことでも受け取ったことは全て伝える

## 注意

- ペットの心をつかむ前にいきなり質問をしない
- 漠然とした質問をしても難しい
- いきなり回答をもらうことは出来ない
- 自分が出来ているところを探す
- 無理して深く繋がるとうしない
- 赤ちゃん言葉は使わない
- ペットは意外にプライドが高い

## 6 ペットにお礼

## 5 質問の仕方を考えながら質問していく

- 言葉にビジョンを乗っける
- 五感をフルに活用して伝える
- 2択で答えられる質問をする
- 感覚
- ビジョン
- 落とし穴
- あえて意識しない
- 受け取り方
- 受け取る
- 途中寝めながら
- 〇〇なんだよね？から始める
- 知ってるよというスタンスから始めると心を開いてくれやすい

## 4 ペットに繋がる

- 本物と対峙するのと同じ気持ちを持つ
- 心持
- 名前を呼んで挨拶をする
- 〇〇なんでしょ？
- 〇〇なんだよね。すごいね
- 知ってるよアピール
- かっこいいね
- 頼りになるね
- かわいいね
- 美人だね
- 面倒見が良いね
- ママは素敵なひとだね
- 飼い主を褒める
- ペットをほめる
- 男子
- 女子

## コツ

- 2-3歳児に話しかけるように
- 段階を経て深いところに到達
- ステップ（階段）を下るように…
- 鮮明に感じるというよりは、ふわっとした夢見心地
- 質問でビジョンを送る時は犬目線で
- 質問は五感をフルに活用して